

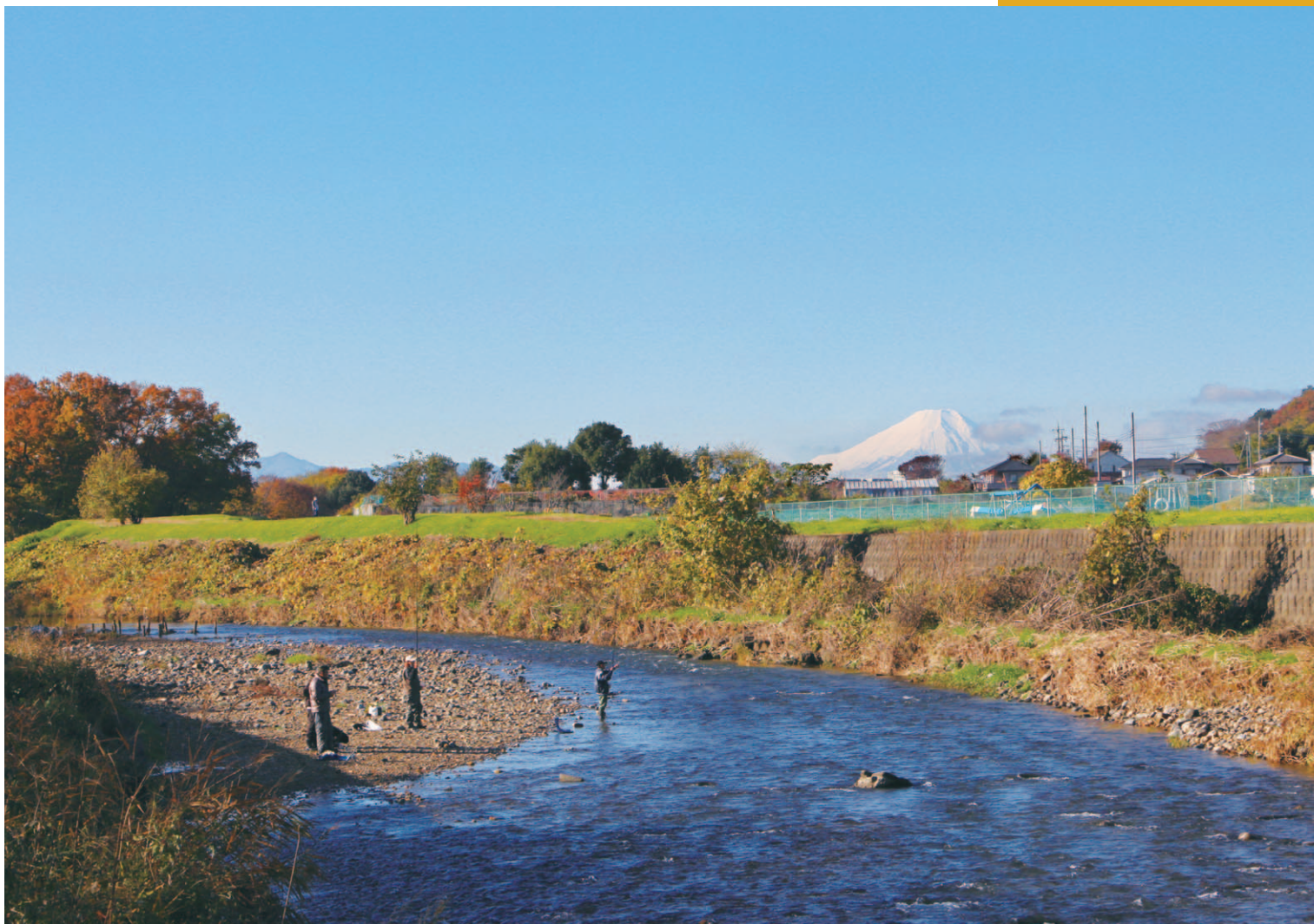


～自治調査会だより～

2023
10

NO. 121

[発行日]
2023.10.1



「清瀬」の由来になったとも言われている柳瀬川。天気の良い日は遠くに富士山が見え、気持ちよく散策できます。

【写真提供】清瀬市【撮影場所】柳瀬川

Contents 10月の内容

- ▶ 多摩東京移管130周年
 - ・記念イベント「超たまらん博」…………… 2
 - ・記念ECサイト「超たまらん! マーケット」…………… 2
 - ・「#おしたま」受賞作品や多摩・島しょ地域39市町村の写真などの展示…………… 3
 - ・フォトコンテスト「#おしたま」受賞作品決定! …… 4
- ▶ 多摩地域ごみ実態調査
2022(令和4)年度統計を発行しました…………… 6
- ▶ 愛らんどリーグ2023が開催されました…………… 8
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
 - みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介… 9
 - 狛江市 特別緑地保全地区の保護と啓発活動
 - 東大和市 東大和市立狭山緑地管理事業
 - 三宅村 三宅島緑化プロジェクト支援事業
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・2024年度広域的市民ネットワーク活動等事業の助成団体を募集します…………… 10
 - ・広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介… 11
 - 山のふるさと村音楽祭
クラシック音楽と語りで贈る「星の王子さま」
- ▶ 多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～清瀬市～… 12



◀ 多摩東京移管130周年記念ロゴマーク
当調査会は多摩東京移管130周年記念事業を展開しています。

公益財団法人

東京市町村自治調査会

多摩東京移管 130 周年



東京都・
多摩30市町村

多摩東京移管 130 周年記念イベント 「超たまらん博」



東京都は多摩の市町村と共同して、多摩東京移管 130 周年を記念した様々な企画を展開しています。ここでは、10月に開催するイベントの詳細についてお知らせします。

開催時期 2023(令和5)年 10月28日(土)・29日(日) 10:00～16:00

会場 JR 立川駅北口 サンサンロード

主なコンテンツ

- 多摩 30 市町村等による販売・PRブース(特産品、グルメなど)
- 東京観光大使による多摩産食材を使用したオリジナルメニュー
- 130 周年記念コンテンツ
(「未来のたま」絵画コンテスト作品、#おしたまフォトギャラリー、みんなで作るフラワーアートなど)
- 地元企業等と連携した体験ワークショップ
(多摩の木材を使用した丸太切り、手づくりアート工作など)
- ステージ
(市町村による PR、多摩のご当地ゆるキャラ大集合など)
- デジタルスタンプラリー抽選会
7/22(土)～10/29(日)で実施中の「130 個の宝物(たまらん)を探せ! たまトレジャーハント」で3箇所以上のスタンプを集めると、本会場の抽選会に参加できます。



賞品イメージ

合計 130 名に当たる!
超たまらん賞

超たまらん!
「癒し」賞



「奥多摩の風はどのす荘」
ペア宿泊券(1泊2食)

超たまらん!
「食」賞



「とうふ屋うかい大和田店」
ペア食事券

超たまらん!
「体験」賞



「日本そば打ち名人会 清瀬教室」
そば打ち体験 2名様

東京都・
多摩30市町村

多摩東京移管 130 周年記念 EC サイト 「超たまらん! マーケット」



多摩東京移管 130 周年を記念して、多摩地域の特産品を集めた EC サイト「超たまらん! マーケット」を 10 月から 2 月までの期間限定で開設します。多摩 30 市町村のおすすめ品を掲載していますので、お家でも多摩地域の魅力を体験できます。ぜひお試しください。

詳細は特設サイトよりご確認ください。

問合せ先

多摩の魅力発信プロジェクト事務局 TEL: 03-5738-8904 (10:00～17:00)
特設サイト: <https://www.tama130.com/>



▲特設サイト

当調査会

「#おしたま」受賞作品や
多摩・島しょ地域 39 市町村の写真などの展示

9月5日から来年3月31日まで、東京自治会館の本館1階にて、多摩東京移管130周年記念フォトコンテスト「#おしたま」の受賞作品や当調査会がこれまで行った調査研究の概要を展示しています。「#おしたま」の受賞作品については、本紙4・5ページでも紹介します。また、専用ホームページ（「問合せ先」参照）でも公開していますので、是非ご覧ください。同フロアにて、多摩・島しょ地域39市町村の過去と現在のまちを比較した写真も展示しています。それぞれの歴史や風景、まちづくりの取組などを再発見できる展示となっています。

1 階
談話室

フォトコンテスト「#おしたま」受賞作品と調査研究ライブラリー展示

最優秀作品は多摩産材で作られたパネルスタンドに飾られています☆



「#おしたま」受賞作品がズラリ！

当調査会の調査研究ライブラリー展示

1 階
中央
ホール

多摩・島しょ地域 39 市町村の写真展示

多摩地域の130年を振り返る巨大パネル！



今と昔の比較パネル全39枚



◆ 東京自治会館

【開館時間】 平日 8:30 ~ 17:15

〈アクセス〉

- ・ JR 中央線／武蔵小金井駅南口1番のりば
京王バス府中駅行き（学園通り経由または一本木経由）
「東京自治会館」下車（約 10 分）
- ・ 京王線／府中駅北口1番のりば
京王バス武蔵小金井駅行き（学園通り経由または一本木経由）
「東京自治会館」下車（約 15 分）



問合せ先

（公財）東京市町村自治調査会 総務課
TEL 042-382-0068 FAX 042-384-6057
調査会ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>
「#おしたま」専用ホームページ <https://tama130th.tokyo>



▲ 調査会



▲ 「#おしたま」

フォトコンテスト「#おしたま」受賞作品決定！

多摩東京移管130周年を記念して、多摩・島しょ地域の魅力を写真で投稿してもらうフォトコンテスト「#おしたま」を開催しました。6月5日から7月末までの約2か月間で、3,000点以上の応募がありました。どの写真も、多摩・島しょ地域の魅力を再発見させてくれる素晴らしいものばかりでした。応募していただいた皆さん、誠にありがとうございます。

専門家による厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞8点、おしたま賞1点が決定しましたので紹介します。

<凡例> ①撮影者 ②撮影場所 ③エピソード

最優秀賞

- ① kaoru_kotetsu さん
- ② 多摩市 京王多摩センター駅前
- ③ 毎年恒例の多摩センターイルミネーションを露光間ズーミングで撮影し、SFタッチの写真にしてみました。



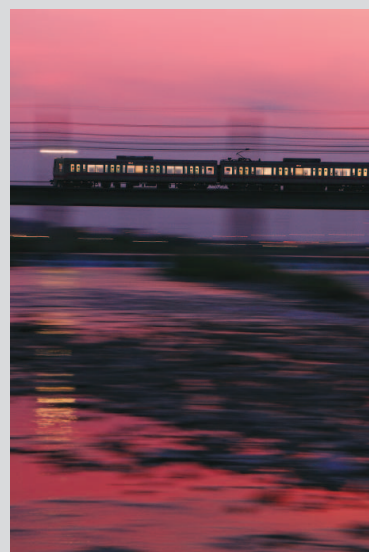
優秀賞



- ① m_t_p_photograph さん
- ② 八王子市 南大沢輪舞歩道橋
- ③ 歩道橋と建物のビビットな色合いが可愛らしく綺麗だったので撮影しました。



- ① shimakura_11 さん
- ② 府中市 郷土の森博物館
- ③ 復元建築物の旧府中町役場庁舎にて撮影しました。なんだかタイムスリップした気分になりました。



- ① hiroyuki.morimoto さん
- ② 多摩市 多摩川沿い
- ③ 夕刻、ほんのり焼けた空に空色反射した多摩川。そこに、京王線シルエットを流し撮りで添えスピード感を演出してみました。



① lovedrea335さん ②昭島市・立川市 昭和記念公園
③待ち望んだ春の訪れ。カラフルなチューリップ
ガーデンから見た満開の桜とのコラボが何とも贅
沢な空間でした。



① ken.t3104さん ②調布市 深大寺
③昔近隣に住んでいましたが、気づきませんでした。
今、改めて訪れてみて、湧水の美しさに魅
了されました。



① sky.hiromiさん ②立川市 阿豆佐味天神社
③七夕の季節境内が美しい空間へと変わります。
子供達の可愛いお願い事を見ながら撮影を楽し
みました。



① yujikawaii4911さん ②青梅市 平松緑地
③車で走っていたら濃いピンク色の桜が目にとま
りました。子供達が楽しそうにまた気持ちよさ
そうに滑っていたので急いで撮りました！



① m.i_3192さん ②多摩市 乞田川沿い
③桜満開の乞田川。夕陽を浴びてとても綺麗で、
桜の新しい一面が見られたような気がしました。

おしたま賞



① masaki_naitouさん ②あきる野市 石舟橋
③武蔵五日市駅から秋川沿いに紅葉を見ながら瀬
音の湯まで写真を撮りながらのトレッキングで
す。瀬音の湯のもみじも紅葉していて、足湯に浸
かりながらの紅葉も綺麗でオススメの場所です。

※これらの受賞作品は、東京自治会館の本館1階に
展示しています（3ページ参照）。

主催 (公財) 東京市町村自治調査会

運営 ©# おしたまフォトコンテスト事務局 (けやき出版) TEL 042-525-9909

「#おしたま」専用ホームページ <https://tama130th.tokyo>



▲「#おしたま」

多摩地域ごみ実態調査 2022(令和4)年度統計を発行しました

当調査会では毎年度、多摩地域30市町村のごみ処理の実績をまとめ、「多摩地域ごみ実態調査」として発行しています。このたび、2022(令和4)年度の統計がまとまりましたので、概要をご紹介します。

「多摩地域ごみ実態調査 2022(令和4)年度統計」の報告書は、当調査会のホームページ (<https://www.tama-100.or.jp>) からダウンロードできます。

- ・「多摩地域ごみ実態調査 2022(令和4)年度統計」
- ・「多摩地域ごみ実態調査 2022(令和4)年度統計 概要版」

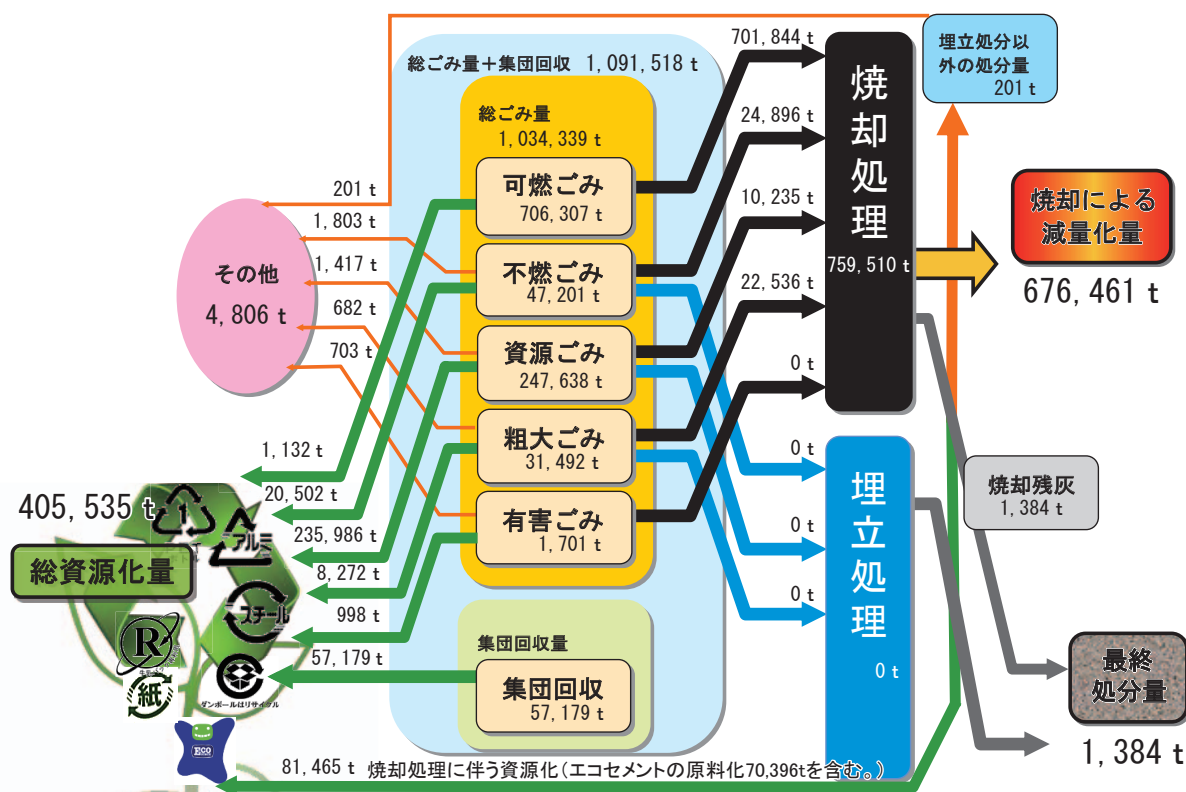


お住まいの自治体は多摩地域でどのような特徴があるのでしょうか。ぜひ、本書でご覧いただければ幸いです。

なお、2012(平成24)年度～2021(令和3)年度統計の報告書についても、ダウンロードできます。ぜひご活用ください。



▶ 2022(令和4)年度 多摩地域30市町村のごみ処理の実績



※数値データは、その算出に当たり、小数点以下を四捨五入しているため、各内訳数値の合計とその合計欄の数値が一致しない場合があります。

総ごみ量

総ごみ量（収集ごみ量及び持込ごみ量）は1,034,339tとなり、前年度に比べて2.3%減少しました。主な内訳を見ると、収集ごみ量（主に家庭ごみの量）は875,948tで前年度に比べて2.9%減少し、持込ごみ量（主に事業系ごみの量）は158,391tで前年度に比べて1.3%増加しました。

1人1日あたりのごみ量

集団回収〔※〕量を含む1人1日あたりのごみ量は703gとなり、前年度に比べて2.3%減少しました。また、集団回収量を含まない1人1日あたりのごみ量は666.6gとなり、団体別に見ると少ない順に小金井市591.1g、次いで日野市596.0g、国分寺市606.1gとなりました。

※町会・自治会等の地域の団体が、紙類やびん等の資源物を回収して直接回収業者に引き渡す自主的な資源回収

ごみの資源化

総資源化率（リサイクル率）は37.2%で前年度に比べて0.1ポイント減少しました。団体別に見ると高い順に国分寺市48.9%、次いで小金井市48.0%、立川市44.1%となりました。ごみ資源化率は33.7%で前年度に比べて0.1ポイント減少しました。団体別に見ると高い順に小金井市45.5%、次いで国分寺市43.7%、立川市40.8%となりました。

最終処分量

最終処分量は1,384tとなり、前年度に比べて2.7%増加しました。

内訳を見ると、焼却処理施設からの焼却残灰が1,384tで前年度に比べて2.7%増加し、埋立処理された不燃残さ（不燃ごみ等を破碎選別したもの）は平成30年度からゼロが続いています。

Halloween Invitation

ハロウィンジャンボ

1等前後賞合わせて5億円
1等3億円、前後賞各1億円

5億円

当せんのチャンス広がる!

ハロウィンジャンボミニ

1等前後賞合わせて5,000万円
1等3,000万円、前後賞各1,000万円

5,000万円

パソコンやスマホでネット購入!

宝くじ公式サイト ▶ <https://www.takarakuji-official.jp/>

9月20日(水)同時発売

発売期間/9月20日(水)~10月20日(金) 抽せん日/10月27日(金)
2023年新市町村振興宝くじ 公益財団法人 東京都区市町村振興協会 各1枚300円

この宝くじの収益金は区市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

愛らんどリーグ2023が 開催されました



当調査会の協賛事業である、島しょ地域の子どものためのフットサル大会「愛らんどリーグ2023」が、2023年7月29日(土)・30日(日)の2日間、東京都江東区「MIFA Football Park 豊洲」及び東京都調布市「味の素スタジアム」で開催されました。

愛らんどリーグは、伊豆諸島・小笠原諸島の子どもたちが、フットサル大会等を通して相互の交流を深めることを目的に、1994年から始まりました。近年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止していましたが、今回4年ぶりの開催となりました。都内島しょ地域の全9町村11島11チームの子どもたちが参加し、交流を深めました。

島を背負って大奮闘！ 「フットサル大会」



▲白熱するフットサル大会

子どもたちは、FC東京コーチ陣による指導の後、予選リーグを行い、それぞれ決勝トーナメント、順位リーグに臨みました。

試合中は各チームの保護者やコーチ、各島の町長・村長などから、大きな声援が送られました。

特に決勝戦では他チームのプレーにも声援を送ったり、試合後に互いの健闘をたたえあったりする子どもたちの姿が印象的でした。

大好きな島をPR！ 「島じまん発表会」



▲「島じまん発表会」の様子

大会初日の夕食時には「アジュール竹芝」において、「島じまん発表会」が行われました。

「島じまん発表会」では、各島の子どもたちが決められた時間の中で、島の魅力や特徴を紹介しました。どの島のチームも創意工夫を凝らしており、会場は大いに盛り上がりしました。

大会結果

フットサル大会

1位	FC 三宅	三宅島
2位	大島マリNZ FC	大島
3位	神津 F.C.	神津島

島じまん発表会

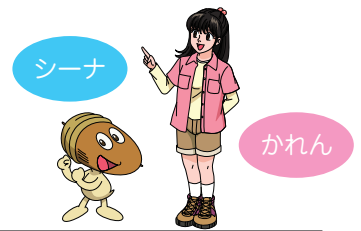
最優秀賞	FC 三宅	三宅島
優秀賞	新島 FC	新島
優秀賞	八丈島 FC	八丈島
FC 東京賞	スール青小 サッカークラブ	青ヶ島



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対し、助成を行っています。この中から多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。

① 狛江市 特別緑地保全地区の保護と啓発活動

狛江市では、狛江弁財天池特別緑地保全地区市民の会（以下、市民の会）と協働して、狛江駅北口前に広がる狛江弁財天池特別緑地保全地区（以下、保全地区）の保護と自然環境啓発活動を行っています。

市民の会は、保全地区の清掃や下草刈りを行うほか、毎月第2日曜日の開放日には、市民の会の会員が自らガイドを務め、保全地区内で自然観察会等のイベントを行うなど、保全地区の魅力を伝えるとともに、市民が四季折々の自然を楽しむことができるよう取り組んでいます。

【問合せ先】 狛江市 環境政策課 TEL 03-3430-1298



② 東大和市 東大和市立狭山緑地管理事業

東大和市の北部に位置する東大和市立狭山緑地は、市民等のやすらぎの場、憩いの場として1984年に開園しました。市では、シンボルである狭山緑地の緑を、市民をはじめとした皆様とともに将来にわたって適切に保全し、豊かな自然を次世代の人々に引き継ぐことを目的として、緑地内の見回り、萌芽更新などの管理を行っています。

また、多くの方々に貴重な自然環境と触れ合ってもらえるように、緑地内のフィールドアスレチックに、多摩産材を使用した幼児用と児童用の木製複合遊具を設置しました。そのほかにも、休憩や荷物置場に活用できる木製テーブルベンチも新しく設置しました。

【問合せ先】 東大和市 土木公園課 TEL 042-563-2111



③ 三宅村 三宅島緑化プロジェクト支援事業

三宅島は2000年の噴火災害によって大量の火山灰や火山ガスが放出されました。その影響により多くの樹木が枯れ、土砂災害等の二次災害が発生する要因となっています。村では、噴火災害により被害を受けた森林の回復を図るため、植生の回復が遅れている森林区域において、緑化ボランティアによる植樹活動の支援事業を行っています。

活動は春と秋に実施予定で、眼下に海が広がる雄大な自然の中、島で生産された苗木を1本1本丁寧に植えています。二次災害の防止に加え、森林への理解と関心が深まる植樹活動を引き続き実施していきます。

【問合せ先】 三宅村 企画財政課 TEL 04994-5-0988





多摩交流センターだより

～多摩地域の複数の市町村からなる市民団体の広域的な活動を支援します～

募集します

2024年度 広域的市民ネットワーク活動等 事業の助成団体



「多摩地域を元気にしたい!」「人の役に立ちたい!」

そんな市民活動を広域的に行っている皆さんのイベントや事業を応援します。日頃の皆さんの広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することで、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくりやまちづくりへとつなげていきます。詳細はパンフレットか当調査会のホームページ (<https://www.tama-100.or.jp>) をご覧ください。

※この助成制度は、2024年度予算の成立を条件とし、その予算の範囲での実施になります。

※今年度から団体の構成員要件を緩和し、申請しやすくなりました。奮ってご応募ください。



▲ホームページ

募集期間

2023年10月16日(月)～11月30日(木)

助成率

助成対象経費の50% (100万円を超える金額は10%) で
120万円以内

※助成制度についてのご質問やご不明点等は、「問合せ先」にお問い合わせください。

問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 企画課

東京都府中市新町 2-77-1 TEL 042-382-7781 受付時間：平日 9:00～17:00

広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介

山のふるさと村音楽祭

実施日 10月15日(日) 10:15~15:00

場 所 東京都立奥多摩湖畔公園 山のふるさと村
(奥多摩駅から山のふるさと村へ無料貸し切りバス運行)

内 容 山のふるさと村の豊かな自然の中で、地域で活動している奥多摩吹奏楽団による演奏をはじめ、本場のクラシック音楽やジャズ・ブルース、オーストリア民族音楽、アルペン音楽等様々なジャンルの曲が演奏されます。子どもから大人まで楽しめる内容となっています。

入場料 無料

主 催 山のふるさと村音楽祭実行委員会

問合せ 山のふるさと村音楽祭実行委員会事務局(奥多摩町観光産業課内)
TEL 0428-83-2295 FAX 0428-83-2344
e-mail kankou@town.okutama.tokyo.jp
ホームページ <https://www.town.okutama.tokyo.jp>



▲ホームページ

クラップクラップVol.14 クラシック音楽と語りで贈る「星の王子さま」

日 時 2023年10月22日(日)
第1回公演 14:30 開演(14:00 開場 0歳から入場可)
第2回公演 17:30 開演(17:00 開場 4歳から入場可)

場 所 パルテノン多摩 小ホール

内 容 すべての人に音楽を楽しんでいただきたい。赤ちゃんから大人まで、本格クラシック音楽の演奏を語りとともに楽しみいただけます。今回は、世界中で愛される名作「星の王子さま」。人生の中で何が大切なのかを、ほっこりと優しく問いかけてくれます。迫力満点の演奏で皆様を想像の世界へお連れします!!

●出演・演出・脚本

永井由里(ヴァイオリン) / 鶴川久美子(フルート) / 深澤花音(マリンバ) /
湯浅ちさ(ピアノ&構成) / 山元顕(語り) / 志村ひかる(王子様) /
長谷川士透(打楽器・友情出演) / 藤間健(演出) / 鶴川龍史(脚本)

●曲目

プーランク「愛の小径」 / クライスラー「愛の喜び／愛の悲しみ」 /
ジーン・コシンスキー「カレイドスコープ」 他

入場料 大人 2,000 円(中学生以上) / 子ども 1,000 円(ひざ上のお子様無料)

チケット 音楽工房アトリエ MINS / イープラス / パルテノン多摩窓口 にて販売

主 催 音楽工房アトリエ MINS

問合せ 音楽工房アトリエ MINS TEL 042-798-1728
ホームページ <https://atelier-mins.com/>



▲ホームページ

「多摩交流センターだより」の問合せ先

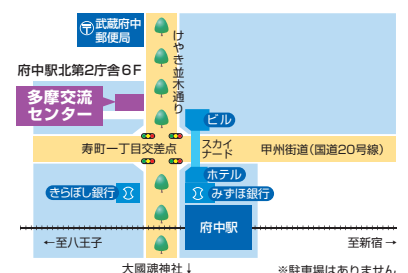
(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町 1-5-1 府中駅北第2庁舎 6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。





多摩・島しょ

history of tama & tōsho

とっておき歴史発見

第31回 清瀬市



身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『西武池袋線清瀬駅』と『外気舎記念館』を紹介するよ。

西武池袋線清瀬駅



2022（令和4）年の1日平均乗降者数が58,830人の清瀬駅は、現在の西武池袋線の前身である武蔵野鉄道の駅として1924（大正13）年6月11日に開業し、2024（令和6）年6月に開業100周年を迎えるよ。清瀬駅はこの100年間、何度か建て替えられながらほぼ位置を変えず、村から町、そして市へ発展を遂げた清瀬のまちと人の暮らしを見守ってきたんだ（写真は開業当時の駅舎）。

外気舎記念館



結核は1940年代まで有効な薬がなく、唯一の治療法はきれいな空気の中で安静にして療養することだったんだって。清瀬の自然はこの治療法に適していて、多くの結核療養所や、回復期の患者の外気療養に使われる「外気舎」が建てられたんだ。東京病院に72棟あった外気舎のうち、現在まで残る一棟は、外気舎記念館として市の指定有形文化財に指定されているよ。

【現地案内】

◆ 外気舎記念館

清瀬市竹丘3-1-1（独立行政法人国立病院機構東京病院内）

〈アクセス〉

清瀬駅南口バス2番乗り場より5分

- ・久米川駅行、所沢東口行は「東京病院北」下車
 - ・下里団地行、滝山営業所行、花小金井駅行は「東京病院玄関前」下車
- （早朝夜間など「東京病院玄関前」を経由しない場合がありますので、車内アナウンスにご注意ください。その場合は「社会事業大学前」でお降りください。）



【情報・写真提供】清瀬市シティプロモーション課 042-497-1808

本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

【発行日】2023年10月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>（本紙のバックナンバーをご覧ください。）



再生紙を利用しています